

# 原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会成果報告会 「原則の意義と今後の活用」に関するパネル討論 総括

## <本基本原則の意義について>

### 論点1: 基本原則と実装に向けた検討内容はどうか?

- ・目的から要求への繋がり議論がまだ足りなかった。

### 論点2: 地震安全原則の必要性。一般的な安全確保の基本的考え方の地震安全に関する十分性は?

- ・IAEAの原子力安全の原則との関連性
- ・地震安全の原則は特別と考えられるが、なぜ必要か踏み込み切れていない。
- ・予防原則の見方が意思決定に悪影響を及ぼしている。
- ・①～④の特殊性を考慮した原則であるべき。

### 論点3: 地震被害の特徴は、①不確定性、②広域性、③共通原因故障、④随伴性。それらに対す

る対応策として、①リスク論の徹底、②リスクカーブ全体でのシームレスな対応、③システム集合としての性能確保、④未完、についてはどう思うか?

- ・不確実さが強調されているが、確定的に分かっていることを明確にすることも重要である。

### 論点4: 供用性の確保が安全原則に入れてあることは?

- ・リスクも便益も踏まえた原則になれば海外への技術展開への拠り所になる。原子力分野以外にも活用できると思う。
- ・IAEAのSF-1にも、同様の考え方が記載されている。

### 論点5: 地震安全の基本原則について、評価できる点、受け入れにくい点、また、足りない点

- ・考え方の作法を示してもらったと考えられる。これがあれば福島事故はどうだったか。その検証が必要である。
- ・第一印象、よくまとまっている。原子力特有ではなく普遍性が必要。その他の分野も含めて相対的に議論することで、原子力分野がよく議論していることが示せるのではないか。

### 論点6: 原則は役に立つか

- ・地震の設定やモバイルの評価に役に立つ。何でも基準地震動 $S_s$ で評価という状況から脱却できるのでは。

# 原子力発電所の地震安全の基本原則に関する研究委員会成果報告会 「原則の意義と今後の活用」に関するパネル討論 総括

## <今後の活用について>

論点7: リスク情報活用した意思決定(RIDM)の動きの下で、本基本原則の活用方法

・原則を具体的な要求や対処に落とし込めれば、活用ができていくと考えられる。

論点8: 規制基準・審査ガイド、学協会規格に対して、本原則の活用とその成果への期待

・学協会で原則の使い方について議論する場を設けていきたい。

論点9: 世界の原子力あるいは非原子力分野においても活用できることについて

・火力や化学プラントにも展開できるのではないか。

論点10: 本原則の海外への発信について期待

・海外でも使える原則を示されている。評価例が一例でもあるとよい。